

「汗の結実」

仙北市長
門脇 光浩

木阿弥です」。

※

アツと言う間に年末です。この一年間、市民の皆さんが期待した幾つかでも、市は実現できたでしょうか。職員は常に全力だったでしょうか。自分は市民活力のエンジンとして、最高出力で回転できたでしょうか。その回転は、常に正しいものだったでしょうか…。

※

先日、仙北市を訪問くださった原辰徳さん（読売巨人軍監督）が、ミニ野球教室に集まった子ども達に語りかけたお話です。

「野球が上手くなりましたかったら、正しい努力をしてください。間違った努力からは、正しい結果は生まれません。例えば、近所に井戸があったとします。今は枯れて使わなくなった井戸です。周囲で子ども達が走り回り危ないので、埋め戻すことにしました。大人たちはシャベルで一生懸命に雪を投げ込みました。確かに井戸は埋まりましたが、これでは春が来たら元の

この夏、民生児童委員の皆さんや市職員が調査員となり、65歳以上の方々を対象に「高齢者生活実態調査」を行いました。調査員は家々を一戸一戸訪問し、暮らしの中で感じている不安・行政サービスへの要望など、丹念に聞き取りながら歩いてくれました。本当にご難気をおかけしました。

戸別訪問で集めていただいた情報の集計結果（概要）は、今広報の2頁〜3頁に掲載しました。じっくりとご覧ください。また、5千件以上におよぶ個別具体的な意見にも注目をしています。これらは市のまちづくりを進める、確かな道しるべになるはずです。

今、新年度予算の編成作業が真っ盛りです。猛暑の中、調査に費やした時間、流した汗は、この後、新たな政策として結実します。

こんにちは！

男女共同参画推進委員会です

第3回「男女共同参画宣言都市」?!

11月3日に能代市で行われた男女共同参画宣言都市記念式典に推進委員一同参加して参りました。

この事業は、市町村において、まちを挙げて男女共同参画社会づくりに取り組む「男女共同参画宣言都市」となることを内閣府が奨励するもので、平成6年度から実施されています。

秋田県では、潟上市が18年度、大仙市が19年度、横手市が20年度に宣言都市となりました。

今年度は、能代市がこの仲間入りをすることができました。

「男女共同参画社会の実現を21世紀の

今回は、男女共同参画社会について、国や県内各市の取り組みについて紹介します。
“お堅い”とお思いの方も少々おつきあい頂けたら幸いです。

我が国社会を決定する最重要課題と位置づけ…。今から11年前に施行された「男女共同参画社会基本法」にもうたわれているとおり、国や地方公共団体では、男女共同参画に関する施策の推進を図ることで、あらゆる社会的場面における“性別の決め付け”という眼鏡を外すまでの過程をお手伝いしています。

どうか、気づいてください。

「男女共同参画は、自分にも関係する。」ということを…

仙北市が、より住みよいまちとなるために…

男女イキイキ職場宣言

事業所紹介コーナー

事業所名	有限会社 ビー・ステップ
業種	養蜂・蜂産品販売・菓子製造販売
従業員数	30人(正社員23人・準社員・パート7人)
うち男性	2人
うち女性	28人
宣言 (協定締結) 年月日	平成21年9月21日
取組内容・ 効果	①女性幹部職登用。 ②有給休暇100%消化と誕生日休暇の実施。 ③介護休暇の活用。 ④育児休暇の積極的取得の推奨。

